

海外事務所 だより

米国における夏休み中の子どもたちのための事業 〜デイキャンプ事業を通して〜

ニューヨーク事務所所長補佐 西條 文武（宮城県登米市派遣）

ニューヨーク
事務所

アメリカの学校年度は、大体九月から六月までとなり、子どもたちは約二カ月という長い夏休みを過ごすこととなります。その間、子どもたちはどのように過ごしているのでしょうか。映画や遊園地に行ったり、旅行に出かけたり、近くの図書館や公園に行ったりして過ごしているとはいえ、そのほとんどを家で過ごすことになっているようです。そして、親も一緒にいられるわけではなく、子どもだけになってしまうこともあるかもしれません。そうした、子どもたちのために実施されている事業が「デイキャンプ」というプログラムです。今回は、ウエストチェスター・カウンティ (Westchester County) のプレザントヴィル村 (The Village of Pleasantville) を例に、アメリカの自治体が提供するデイキャンプ事業を紹介したいと思います。

デイキャンプとは

日本で「デイキャンプ」という言葉を聞くと、日帰りどころかに旅行し野外活動を行うなどというものを想像されるかもしれませんが、ここで言う「デイキャンプ」はそれとは異なります。この事業は、夏休み期間中の一週間から最大六週間ほど、月曜日から金曜日までの五日間、子どもたちがキャンプサイトと呼ばれる指定会場まで通い、他の子どもたちと遊んだり、水泳などのスポーツ活動や野外活動、創作活動を楽しんだり、フィールドトリップ（移動学習）に行ったりして、半日から一日を過ごすというものです。そういった点では、「デイケア（預かり世話をする）」という役割も大きく、また健康な体づくりや、様々な体験をさせることを目的としているようです。そのため、対象となる年代は、一般的に幼稚園から中学生くらいまでで、年代が上がるにつれ内容も「遊び」を中心にしたものから、より学習的要素の多いものに変わっ

てきます。

実施主体

この「デイキャンプ」と呼ばれるプログラムは、地方自治体、NPOやプライベートのレクリエーション会社といった民間団体など様々な機関が提供しています。地方自治体が主体となる場合には、この事業がレクリエーションサービスの一つとして考えられていることから、主にその公園レクリエーション部局が事業を実施しています。アメリカでは、ほとんどの地方自治体が同部局を有しているか、またはそれと同様の部局を有しており、同部局は公園を始めとしたスポーツ施設やレクリエーションセンターなどの施設管理、レクリエーション事業の実施運営を担当しています。そして、この「デイキャンプ」は、公園レクリエーション部局にとって夏期を中心事業の一つになっています。

事例の紹介

ここで、筆者が実際に調査に行ったニューヨーク市の北に位置するウエストチェスター・カウンティ、プレゼントヴィル村という自治体の例を紹介してみたいと思います。プレゼントヴィル村は、ニューヨーク市から鉄道で四〇分ほどの郊外に位置し、人口は

表1: プレゼントヴィル村のデイキャンプ

対象	内容	期間	参加費用
3歳～4歳	読書、創作活動、 野外活動、ゲーム	1セッション3週間 前後半各1セッション 最大6週間 週5日実施(平日)	1セッション 住民 \$263 非住民 \$350 2セッション 住民 \$460 非住民 \$615
幼稚園・1年生	スポーツ、水泳、 野外活動、創作活動	1セッション3週間 前後半各1セッション 最大6週間 週5日実施(平日)	1セッション 住民 \$232 非住民 \$315 2セッション 住民 \$330 非住民 \$535
小学生	スポーツ、水泳、 野外活動、創作活動、 フィールドトリップ(週2日)	1セッション3週間 前後半各1セッション 最大6週間 週5日実施(1日)	1セッション 住民 \$475 非住民 \$600 2セッション 住民 \$815 非住民 \$930
6年生～8年生	フィールドトリップのみ	4週間 週5日実施(1日)	\$990

※8年生は日本における中学2年生に相当

約七〇〇〇人、ほとんどの住民がニューヨーク市に通勤している同市のベッドタウンで、芸術文化振興にも熱心な自治体です。

同村レクリエーション局のデイキャンプ・プログラムは、六月末から八月までの間、三歳から中学生までの各年代を対象にそれぞれ実施されています(表1)。ここでは、特に小学生向けのデイキャンプに焦点を当てます。

小学生対象のデイキャンプは、前述の期間に、週五日間、午前九時から午後三時まで開催されます。週五日の内、三日間は村内のキャンプサイトである小学校と村営プールで実施され、残り二日間はフィールドトリップが行われます。二〇〇九年は全体で約二〇〇名の参加がありました。それに、住民以外でも、非住民用に設定された参加費用を払えば、子どもを参加させることができます。この事業で使用する会場については、学校施設は学区の協力により無料で使用させてもらい、村営プールは期間中の午前の一般使用を制限することで確保しています。

キャンプサイトでの活動では、「遊び」による活動を重要視しているため、特に決められたプログラムは無く、お世話係のカウンセラーというスタッフの下で、学年性別ごとにグループ分けされて、グループごとに自由に活動しています。また、スペシャリストというスポーツや創作活動の専門スタッフが、子どもたちにスポーツのルールや工作、ゲームなどを教えていて、興味のある子どもは

自由にそれらを学んでいます。フィールドトリップでは、水族館や動物園、美術館や博物館などの他に、カウンティ政府のレクリエーション局が主催する事業に参加します。

また、デイキャンプ実施にあたり、同村ではスタッフをパートタイムで雇用しています(表2)。スタッフのパートタイム雇用は一般的で、多くの自治体が同様にスタッフを雇用しています。

レクリエーション局の職員は、事業の計画と実施はもとより、責任者としてスタッフの統括と雇用、子どもの健康安全管理、保護者との連絡、フィールドトリップのアレンジなど全体を管理しています。その他、スペシャリストは専門的指導と教授、カウンセラーは

表2: プレゼントヴィル村のデイキャンプスタッフ

職種	業務	給与
ディレクター/総括責任者 (レクリエーション局職員)	全体計画・実施、スタッフ雇用、 全体管理、スタッフ総括、 健康安全・危機管理 など	職員であるため、職員としての給与のみ
スペシャリスト (パートタイム)	専門的な技術や知識の教授	1日\$50
カウンセラー (パートタイム)	子どもの世話、健康安全管理、 生活や食事の指導、 子どもの活動及びスケジュール管理、 昼食の管理	時給\$7～\$8 (年齢とスキルにより変化) ※ニューヨーク市など、時給\$10以上に設定している自治体もある。

子どもの世話全般を担当しています。同村の場合、大学が近接していることもあり、カウンセラーは大学生（少数だが高校生もいる）がほとんどです。この、カウンセラーは子どもと接する機会が多いことから、他の自治体や機関でも大学生かその年代の青年が雇用されることが多いようです。なお、カウンセラーの人数については、参加する子どもの数に応じて最低必要数が、州政府保健局のガイドラインによって定められています（子ども二名に対してカウンセラー一名）。同村では、ガイドラインよりも多い、子ども八名に対して一名以上のカウンセラーを雇用しています。

デイキャンプの子ども一人あたりの参加費用については、表1にも示していますがかなり高額になります。ただ、同村が極めて高額というわけではなく、同カウンティ内の自治体の相場もおおよそ同程度かそれ以上で、カウンティ政府のレクリエーション局のデイキャンプになると一週間で三七五ドルにもなります。こうした費用によってスタッフの賃金、フィールドトリップの交通費や入場料などといった、事業経費のほとんどが賄われています（昼食は参加者が各自用意）。また、保護者は安全上の理由から、子どもの送迎が義務化されており、迎えが遅れて預かりが延長した場合には別途費用が請求される場合もあります。

ほとんどの自治体では、三月には募集を始め、五月末までの登録としており、保護者の費用負担を軽減すべく参加費用の分割

払いを認めることもあれば、同村のように早期登録のインセンティブとして、早期割引をする自治体もあります。

こうしたデイキャンプは、同村のみならず、住民の人气が高く、参加費用が高い割には抽選になる場合もあります。その理由としては、二カ月にもわたる長い夏休みの間、いろいろな体験をさせることができるというだけでなく、保護者が子どもをずっと家にいさせることを子どもの発達にとって良いとは思わず、また子どもがいれば保護者も家になくしてはならないため、共働き家庭にとって「預かり保育」となる点なども挙げられます。この事業は住民の強いニーズのもと実施されている事業です。

ニューヨーク州内のデイキャンプにおける健康安全管理

ニューヨーク州内ではほとんどの自治体、そして多くの民間団体がデイキャンプのプログラムを実施しています。前述もしましたが、その際の健康安全管理については、州政府保健局がガイドラインを作成し指導しています。その内容は、スタッフの人数と雇用方法、健康状態のチェック方法、緊急時マニュアルなどの他に、日焼け対策や食事指導、各スタッフの危機管理など詳細に作成されており、事業計画を立てる職員はそのガイドラインに沿って、事業の健康安全管理計画書を作成し、カウンティ政府の保健局に提

出し、さらに保護者説明会を開催しなくてはなりません。その上で、カウンティ政府の保健局が、事業実施期間内に二回程度監査を行い、管理が不十分な場合には指導を行います。また、カウンティ政府保健局はそのウェブサイトで、危機管理情報だけでなく、事故等の各種報告様式やファクトシートを提供し、さらにスタッフ雇用時の前科調査（特に性犯罪）にも協力しています。このように保護者が最も危惧する健康安全面についても十分にフォローアップされています。

おわりに

日本の自治体でも、子どもたちの夏休み期間には様々な事業が実施されています。しかしながら、このデイキャンプのような長期間にわたる事業はほとんどないのではないのでしょうか。現在は、日本でも放課後児童保育の推進や共働き家庭の支援などのニーズが高まっています。もちろん、この事業をそのまま日本に導入するというのは、その背景が違い大変難しいことだと思えます。しかしながら、今後の事業計画のヒントになる要素はあるのではないのでしょうか。

〈参照〉

- ・プレセントヴィル村ホームページ
<http://www.pleasantville-ny.gov/Pages/index>
- ・ウエストチェスター・カウンティ政府公園レクリエーションホームページ
<http://www.westchester.gov.com/parks/>
- ・ウエストチェスター・カウンティ政府保健局ホームページ
<http://www.westchester.gov.com/health/Camps.htm>

海外生活
だより

ニューヨーク事務所

無料で味わおう！
ハイクオリティな芸術を

ニューヨーク事務所所長補佐 小林 涼子（川崎市派遣）

世界中から芸術家が集まるニューヨーク市では、六月から九月にかけて、屋内外で様々な芸術・文化イベントが開催され、地元住民や観光客を楽しませています。今回は、ニューヨーク市が誇る世界に名高い芸術を無料で楽しめる芸術・文化イベントをご紹介します。

ロウアーマンハッタン一帯が
ステージに
〜 River to River Festival

River to River Festival は、同時多発テロの被害からロウアーマンハッタンと呼ばれるマンハッタンの南側一帯を活性化するため、官民協働で二〇〇二年に設立されました。五月末から九月初旬にかけて、Chambers Street から南側の公園など至る所で、コン

サート、ダンス、シアターパフォーマンス、アートの展示会などがほぼ毎日開催されます。有望な若手歌手を登用し、活気のあるオペラハウスとして有名なニューヨーク・シティ・オペラは「魔笛」等の人気演目を一時間にアレンジして披露してくれます。小さな子供も一緒に見られるので家族連れや気軽にオペラを楽しみたいという方にお勧めです！

シェイクスピアを
セントラル・パークで見よう
〜 Shakespeare in the Park

シェイクスピアの戯曲や新進気鋭の劇作家の作品を上演する演劇集団 The Public が主催するイベント。六月末から七月初めと八月の約三週間、セントラル・パークの

Delacorte Theater でシェイクスピアの演目を無料で上演します。チケットはオンラインのくじ引きか劇場で毎日午後一時から配布されますが、入手は非常に困難！エアベッドや椅子を持ち込んで深夜から並ぶ人も多く、最終日直前の土曜日は、チケットを手にした人は前日の真夜中から並んでいたとか！無料でとても質の高い演劇が見られるとあって、ニューヨークの無料イベントの中でも人気の高いイベントです。

ファッションも無料ぞ
〜 The Museum at FIT

少し色合いが異なりますが、文化としてのファッションも紹介します。第一線での活躍中の卒業生を数多く輩出しているニューヨーク州立ファッション工科大学 (FIT/Fashion Institute of Technology)。その中にある博物館 The Museum at FIT は一七五五年から現在までの洋服、靴などを展示しています。館内は狭いのですが、ビートルズが履いたことで人気に火がついた「Beatle Boots」、やアラスカ州のサラ・ペイリン知事が副大統領にノミネートされたときに履いていたハイヒールなども展示されています。現代ファッションの展示も多いので、まるでデパートの洋服売り場を歩くように展示を楽しむことができます。

地元の有名バンドが出演 Harlem Meer Performance Festival

セントラル・パークの北側では六月から九月の毎週日曜日に、地元の有名バンドを招いた無料コンサートが行われます。会場付近は黒人やヒスパニック系が多く住むハーレム。そのため、音楽もラテン、ジャズ、ゴスペルが中心です。会場も規模も小さく、日曜日の午後二時から四時の二時間だけです。近所の人や通りすがりの人が音楽につられて集まり、談笑したり、踊ったり、日曜の昼下がりのご近所のお祭りといった雰囲気です。主催はセントラル・パークの管理運営を担うNPO・Central Park Conservancy。同NPOは近隣にあるMuseum for African Artと協同でアフリカン・ダンスの無料イベントも開催しています。

夏の夜長にNYフィル Concert in the Park

最後は、ニューヨーク・フィルハーモニックの大変人気の高い無料コンサート。マンハッタンのセントラル・パークだけでなく、クイーンズ、ブルックリン、スタテン島でも開催されます。普段は公共の場での飲酒は禁止されていますが、この時ばかりは食べ物やワインを持ち込み、芝生に寝転んで思い思いに音楽を楽しみます。演奏は午後八時

から九時半ですが、午後六時にはもうすでにたくさんの人で公園が埋め尽くされます！ニューヨーク・フィルハーモニックをバックに公園でピクニックと、とても贅沢な時間が味わえます。

ここに紹介したものはほんの一部で、八月にはリンカーン・センターの敷地内で、音楽、ダンス、詩の朗読等のイベント「Lincoln Center Out of Doors」が開催され、他にも数多くのイベントが行われています。なぜ、こんなに無料イベントが開催できるのでしょうか。ニューヨーク市では、ブルームバーグ市長のもと、芸術文化を経済、教育など多様な面で重要な役割を果たすものと認識し、Department of Cultural Affairs (ニューヨーク市文化局) が芸術文化団体に助成をしている(注)他、充実した寄付者及びNPOに対する税制上の優遇措置が個人と企業の寄付を促進し、芸術文化団体の資金確保を比較的容易にしています。また、セントラル・パークのような大人数を収容できるだけの公共空間があることも非常に重要

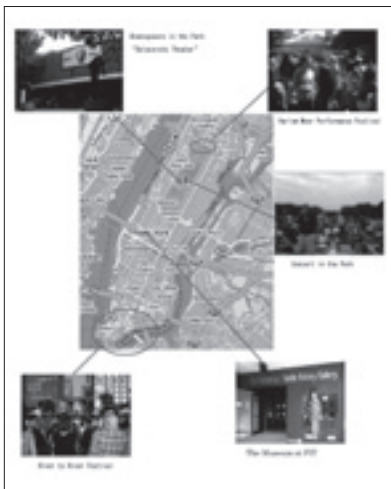
ニューヨーク市文化芸術局事業費決算及び予算
(2007～2010年度) (単位:千米ドル)

	合計*	ニューヨーク市
2007年度決算	149,996	147,812
2008年度決算	161,276	159,002
2009年度予算	153,399	150,802
2010年度予算	158,994	158,350

*ニューヨーク市からの予算に連邦等其他団体からの補助金を合計した額

出典: ニューヨーク市予算局ホームページ

です。そして、なんとといってもニューヨークの人々がこうしたイベントを夏の生活の一部としてとても上手に楽しんでいることが、イベントを継続できる要因にもなっているように感じます。市民が質の高い芸術に気軽に触れる機会が溢れているところが、ニューヨークが世界の芸術をリードしている所以なのでしょう。



↑イベント開催場所(筆者作成)

(注) 自治体国際化フォーラム vol.206 (二〇〇六年二月) 丹羽恵玲奈「ニューヨーク市の芸術文化支援策」世界の芸術文化ハブを支える市政府の役割」『アメリカにおける「パートナーシップ」による地域経済活性化』(参考)

- River to River Festival (<http://www.rivertorivernyc.com/>)
- The Public (<http://publictheater.org/>)
- The Museum at FIT (<http://www.fitnyc.edu/html/dynamic.html>)
- Harlem Meer Performance Festival (http://www.centralparknyc.org/site/Pagenavigator/events_HarlemMeerPerformanceFestival)
- New York Philharmonic (<http://nyphil.org/>)
- ニューヨーク市予算局 (The City of New York Office of Management and Budget) (<http://www.nyc.gov/html/omb/html/home/home.shtml>)